

産業廃棄物処理施設(焼却施設)維持管理状況報告書(年度)

平成 年 月 日

島根県知事 様

住 所

報告者 氏 名

(法人にあつては名称及び代表者の氏名)

電話番号

年度の産業廃棄物処理施設における維持管理状況について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行細則第11条の規定により、次のとおり報告します。

設 置 場 所					
許可(届出)年月日	年 月 日		許可(届出)番号	第 号	
許可(届出)能力	1日当たり処理能力	t	技術管理者氏名		
	1時間当たり処理能力	t	1日当たり稼働時間		
焼却施設の種類 (政令第7条)	第3号(汚泥) 第5号(廃油) 第8号(廃プラスチック類)		第12号(PCB) 第13号の2(その他の廃棄物)		
処理する産業廃棄物の種類					
処 理 実 績 (4月1日から 翌年3月31日ま での処理量)	産業廃棄物の種類	処 理 量	左のうち特別管理産業廃棄物の処理量		
	汚 泥	m3	m3		
	廃 油	m3	m3		
	廃プラスチック類	t	t		
	その他廃棄物 (廃酸及び廃アルカリ)	m3	m3		
	その他廃棄物 (上記以外)	t	t		
	併せて処理できるとされた一般廃棄物		年間総合計処理量		
処理後の廃棄物 の 処 理 量 (4月1日から翌年3月 31日までの処理量)	産業廃棄物の種類	処 理 量	処 理 の 方 法	委託処理・自家処理の別	
	燃 え 殻	t		委 託 ・ 自 家	
	ば い じ ん	t		委 託 ・ 自 家	
	廃酸及び廃アルカリ	m3		委 託 ・ 自 家	
	汚 泥	m3		委 託 ・ 自 家	
施 設 の 維 持 管 理 状 況			排出される排ガス・排水・処理後の廃棄物中のダイオキシン類の測定結果 <small>(単位)</small>		
焼却施設の排出ガス測定の実施結果(4月1日から翌年3月31日までの測定)					
測 定 月 日	月 日	月 日	<small>(単位)</small>	排 出 ガ ス	
排出ガス量(乾き)				排 出 水	
ば い じ ん				燃 え 殻	
硫黄酸化物(SOx)				ば い じ ん	
窒素酸化物(NOx)				廃酸・廃アルカリ	
塩 化 水 素				汚 泥	

注 「施設の種類の」欄及び「委託処理・自家処理の別」の欄は、該当する項目を○で囲むこと。

産業廃棄物処理施設(最終処分場)維持管理状況報告書(年度)
 -管理型最終処分場-

平成 年 月 日

島根県知事 様

住 所

報告者 氏 名

(法人にあっては名称及び代表者の氏名)

電話番号

年度の産業廃棄物処理施設における維持管理状況について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行細則第11条の規定により、次のとおり報告します。

設 置 場 所					
許可(届出)年月日	年 月 日		許可(届出)番号	第 号	
許可(届出)能力	埋 立 面 積	m2	技術管理者氏名		
	埋 立 容 量	m3	年度当初埋立残余容	m3	
最終処分場の種類	管理型最終処分場				
処理する産業廃棄物の種類					
処理実績 (4月1日から翌年3月31日までの埋立処理量)	廃棄物の種類	埋立量	報告量区分	埋立量	
	産業廃棄物	m3	年間合計埋立量	m3	
	併せて処理できるとされた一般廃棄物	m3	年度末残余容量	m3	
点検実施状況	放流水の測定結果(4月1日から翌年3月31日までの測定)				
① 遮水工の点検 異常なし・措置必要	測定項目	最大値	最小値	単位	測定回数
	水素イオン濃度				
② 擁壁の点検 異常なし・措置必要	B O D				
	C O D				
③ 調整池の点検 異常なし・措置必要	浮遊物質				
	窒素含有量				
④ 浸出水処理設備の点検 異常なし・措置必要	測定項目	測定結果(単位)	測定項目	測定結果(単位)	
	アルキル水銀化合物		シマジン		
⑤ 周縁地下水の水質 異常なし・措置必要	水銀及びアルキル水銀その他水銀化合物		チオベンカルブ		
	カドミウム及びその化合物		ベンゼン		
⑥ 上記の措置を講じた場合は、措置を講じた年月日及び措置内容	鉛及びその化合物		セレン及びその化合物		
	有機燐化合物		1・4-ジオキサン		
	六価クロム化合物		ほう素及びその化合物		
	砒素及びその化合物		ふっ素及びその化合物		
	シアン化合物		アンモニア、アンモニウム化合物、亜硫酸化合物及び硫酸化合物		
	P C B		ノルマルヘキサン抽出物質(鉱油類)		
	トリクロロエチレン		ノルマルヘキサン抽出物質		
	テトラクロロエチレン		フェノール類含有量		
	ジクロロメタン		銅含有量		
	四塩化炭素		亜鉛含有量		
	1・2-ジクロロエタン		溶解性鉄含有量		
	1・1-ジクロロエチレン		溶解性マンガン含有量		
	シス-1・2-ジクロロエチレン		クロム含有量		
	1・1・1-トリクロロエタン		大腸菌数		
	1・1・2-トリクロロエタン		窒素含有量		
	1・3-ジクロロプロペン		燐含有量		
チウラム		ダイオキシン類			

注 1 ①の欄から⑤の欄までの各欄は、該当する項目を○で囲むこと。

2 ⑥の欄にすべてを記入できないときは、「別紙のとおり」と記載し、別紙を裏面に貼付すること。

産業廃棄物処理施設(最終処分場)維持管理状況報告書(年度)
 一安定型最終処分場一

平成 年 月 日

島根県知事 様

住 所

報告者 氏 名

(法人にあっては名称及び代表者の氏名)

電話番号

年度の産業廃棄物処理施設における維持管理状況について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行細則第11条の規定により、次のとおり報告します。

設 置 場 所					
許可(届出)年月日	年 月 日		許可(届出)番号	第 号	
許可(届出)能力	埋 立 面 積	m2	技術管理者氏名		
	埋 立 容 量	m3	年度当初埋立残余容量	m3	
最終処分場の種類	安定型最終処分場				
処理する産業廃棄物の種類					
処理実績 (4月1日から翌年3月31日までの埋立処理量)	廃棄物の種類	埋立量	報告量区分	埋立量	
	産業廃棄物	m3	年間合計埋立量	m3	
			年度末残余容量	m3	
点検実施状況	浸透水の測定結果(4月1日から翌年3月31日までの測定)				
① 擁壁の点検 異常なし・措置必要	測定項目	最大値	最小値	単位	測定回数
	B O D				
② 調整池の点検 異常なし・措置必要	C O D				
	測定項目	測定結果(単位)		測定項目	測定結果(単位)
③ 展開検査実施回数 回/年度	アルキル水銀化合物	1・1-ジクロロエチレン			
	総水銀	1・2-ジクロロエチレン			
④ 安定型廃棄物以外の混入が認められた年月日 年 月 日	カドミウム	1・1・1-トリクロロエタン			
	鉛	1・1・2-トリクロロエタン			
⑤ 周縁地下水の水質 異常なし・措置必要	六価クロム	1・3-ジクロロプロペン			
	砒素	チウラム			
⑥ 上記の措置を講じた場合は、措置を講じた年月日及び措置内容	全シアン	シマジン			
	PCB	チオベンカルブ			
	トリクロロエチレン	ベンゼン			
	テトラクロロエチレン	セレン			
	ジクロロメタン	1・4-ジオキサン			
	四塩化炭素	塩化ビニルモノマー			
	1・2-ジクロロエタン				

注 1 ①の欄から⑤の欄までの各欄は、該当する項目を○で囲むこと

2 ⑥の欄にすべてを記入できないときは、「別紙のとおり」と記載し、別紙を裏面に貼付すること。

産業廃棄物処理施設(中間処理施設)維持管理状況報告書(年度)

平成 年 月 日

島根県知事 様

住 所

報告者 氏 名

(法人にあっては名称及び代表者の氏名)

電話番号

年度の産業廃棄物処理施設における維持管理状況について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行細則第11条の規定により、次のとおり報告します。

設 置 場 所				
許可(届出)年月日	年 月 日	許可(届出)番号	第 号	
許可(届出)能力	1日当たり処理能力	t	技術管理者氏名	
	1時間当たり処理能力	t	1日あたり稼働時間	
施 設 の 種 類	政令第7条 第 号 施設			
処理する産業廃棄物の種類				
処 理 実 績 (4月1日から 翌年3月31日ま での処理量)	産業廃棄物の種類	処 理 量 (単位)	左のうち特別管理産業廃棄物の処理量 (単位)	
		併せて処理できるとされた一般廃棄物		年間総合計処理量
処理後の廃棄物の処理量 (4月1日から 翌年3月31日ま での処理量)	産業廃棄物の種類	処 理 量 (単位)	処 理 の 方 法	委託処理・自家処理の別
				委託 ・ 自家
				委託 ・ 自家
				委託 ・ 自家
				委託 ・ 自家
				委託 ・ 自家

注 1 液状・泥状物は容量(m3)で記載し、その他のものは重量(t)で記載すること。

2 「委託処理・自家処理の別」の欄は、該当する項目を○で囲むこと。